

ストリート Rクラス

事前テストでキャッチ
見どころマシン④

ARMS

S15 後輪駆動1部門

ドライバー 木下みつひろ

街乗りも快適にできる仕様で
1分は切れるのか?

エアコン+オーディオ付きにラジアルタイヤがルールのストリートクラスで1分切りに挑戦を続けているのがアームズ。パワーよりもレスポンスが重要ということで、2.2ℓエンジンにSR20VEヘッドを組み合わせ、トルクフルな仕様とする。組み合わせられるタービンは、2012年にGT-RSにサイズダウンしたが、再びワンサイズ大きい2835ProSに変更。タイヤサイズも265/35R18から275/35R18へアップされた。軽量化なし、派手な空力パーツもなし、ハイパワーもなしのマシンだが、毎年着実にタイムアップしてきたセッティングノウハウは必見だ。

12/7^金は
第23回レブスピード
筑波スーパーバトル

ストリートRクラス

事前テストでキャッチ
見どころマシン⑤

TM-SQUARE

ZC31S FF2部門(スポルトライツ)

ドライバー 田中実

エンジン本体ノーマル
クムホV700装着で挑む

ミスタースイフトこと田中ミフル氏が率いるTMスクエア。昨年はNAフルチューンのエンジンにクムホのV710タイヤで挑み4秒台という途方もない速さをマークした。今年は完全ノーマルエンジンでタイヤもクムホV700でアタック。絶対の自信を持つサスペンションやアライメントセッティング、ブレーキパッドのチョイスなどよりユーザーに近い仕様で走る。旧型となったZC31Sと、パワーもボディ剛性もトラクションもアップし、6MTが積まれたが、10kgの軽量化までされたZC32Sとどう渡り合うのかスイフトスポーツ・ウォーズが開戦する。

